

学術組織改編に伴う部門再登録について

会員の皆様におかれましては、当会の事業に関しまして、平素より格別のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、本年 6 月の総会において承認されましたとおり、次年度の令和 8 年度から学術組織が改編され、これまでの部門を引き継ぐ基幹 8 部門と、産業区分ごとに改編する応用 4 部門の計 12 部門に加え、新たに 1 つの独立部門を設ける体制へと移行いたします。この新しい部門構成への移行に伴い、正会員の皆様には、これまでの部門登録を一旦破棄していただき、新しい構成における部門への再登録をお願いする次第です。

つきましては、諸事多忙の折に申し訳ありませんが、「部門再登録申請書」に必要事項をご記入の上、期日までに同封の返送用封筒かメールにてご返送ください。

部門再登録申請書 返送期限 ▶ 令和 7 年 12 月 15 日(月) (必着)

同封した書類：

1. 宛名用紙（宛名住所の下には、貴団体会員の現在の登録内容を記載しております）
2. 「学術組織改編に伴う部門再登録について」（この文書）
3. 「団体会員用部門再登録申請書」 ←これをご返送ください。
4. 返信用封筒

申請要領：

- ・ 「団体会員用部門再登録申請書」の電子ファイル（Word 形式）は、協会 HP からダウンロードすることもできます。

（URL：<https://sciences.jsndi.jp/wp-content/uploads/2025/10/03-application-form.doc>）

- ・ 申請書の提出は、郵送かメールかのいずれでも結構です。

郵 送： 「部門再登録申請書」を、返送用封筒に封入の上、ご返送ください。

メー ル： 「部門再登録申請書」の電子ファイルを、下記アドレスにご送付ください。

（送付先アドレス：acd@jsndi.or.jp）

（件名： 部門再登録申請）

新しい学術組織における部門の構成

部門名称ならびに（略称）は下記のとおりです。

【基幹部門 (8)】

放射線部門	(RT)
超音波部門	(UT)
磁粉・浸透・目視部門	(MT/PT/VT)
電磁気部門	(ET/MFLT)
漏れ試験部門	(LT)
応力・ひずみ測定部門	(SSM)
AE・音響部門	(AET)
赤外線部門	(IRT)

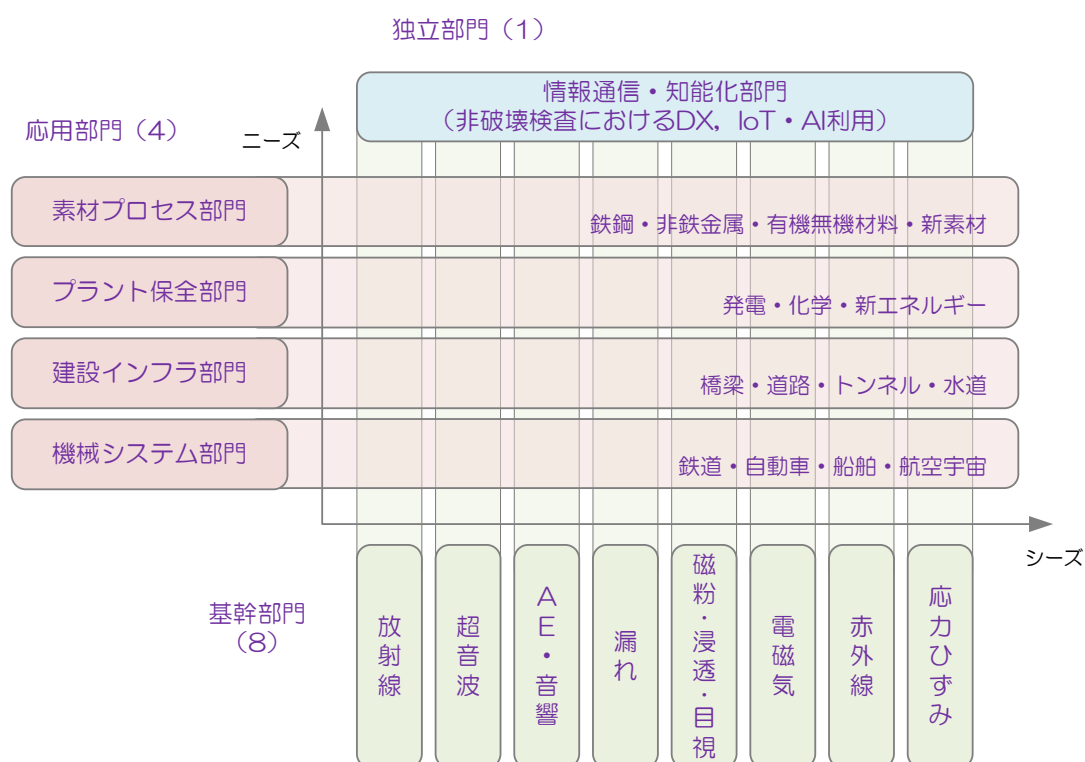
【応用部門 (4)】

素材プロセス部門	(MMP)
プラント保全部門	(PM)
建設インフラ部門	(SCI)
機械システム部門	(MS)

【獨立部門 (1)】

情報通信・知能化部門 (ICI)

学術組織の全体構造を、下図に二次元構造として示します。



※ 今回の改編の目的と内容、刷新する各部門の研究活動・方針などについては、機関誌第 74 巻 11 号（令和 7 年 11 月号）において説明しておりますので、どうかご参照ください。

各部門（刷新の内容）について

基幹部門（8部門）

これまでの要素技術分野の 8 部門（放射線、超音波、磁粉・浸透・目視、電磁気応用、漏れ試験、応力・ひずみ測定、AE、赤外線サーモグラフィ）は、そのまま 8 つの基幹部門に移行しますが、どの部門とも、新しい非破壊検査技術への展開を指向することとし、それに伴って、AE 部門は「AE・音響部門」に名称変更して、音響や振動による検査や状態監視に関する領域をも範囲とします。また、赤外線サーモグラフィは「赤外線部門」と名称変更し、温度計測に限らず、扱う波長範囲も広げて、あらゆる光波を利用した検査や材料評価をも含めた領域とします。電磁気応用部門も「電磁気部門」と変更し、放射線部門や超音波部門と並立した名称として、電気・磁気・電磁波など、広く電磁気全般を守備範囲とすることとします。

応用部門（4部門）

現在の応用技術分野の 4 部門（製造工程検査、保守検査、新素材、鉄筋コンクリート）は、形式上廃止とし、新たに業界ごとに対応させた 4 つの部門（素材プロセス、プラント保全、建設インフラ、機械システム）を立ち上げます。

「素材プロセス部門」は、各種素材とその製造工程における試験・検査に関する分野とします。鉄鋼や非鉄金属のみならず、高分子材料や複合材料、電子材料など、あらゆる種類の材料や素材、部品等に対する非破壊検査・非破壊評価を対象とします。「プラント保全部門」は、発電や化学などの各種プラントにおける保守検査や状態監視を対象とする分野です。電力やガスなどのエネルギー貯蔵・輸送設備の保全もこの部門で扱います。「建設インフラ部門」は、鋼構造物やコンクリート構造物などに対する検査に関する分野で、建築・土木分野における非破壊検査全般を対象とします。「機械システム部門」は、鉄道・航空宇宙・船舶・自動車などの機械システムに対する試験・検査に関する分野です。また、サイバネティクスの考え方に照らせば、人体もまた高度な機械システムと捉えられますから、医療分野における非破壊的な診断技術もこの部門に関係する領域といえます。

独立部門（1部門）

独立部門は、上述の 12 部門の相互連携を推進する自由な場として設置するものです。よって、後述する部門登録数制限の適用外とし、すべての会員が随意に登録できる部門とします。この独立部門では、非破壊検査の全ての要素技術、全ての応用分野に共通する課題を対象とした研究・調査を行っていくことになります。具体的には、いま全世界的な潮流となっている非破壊検査の DX や AI や IoT の活用などが当面の課題となります。独立部門の名称は「情報通信・知能化部門」とします。

なお、画像処理に関する研究は、現在、製造工程検査部門で継続されていますが、今後は、非破壊検査の DX における根幹技術として、この独立部門に引き継がれることになります。

団体会員の部門登録と活動への参加

団体会員は、これまでどおり種別に応じた制限数まで、団体として部門に登録することができます。また、その制限数によらず、独立部門へは随意に登録することができます。

登録した部門の行事には、団体の構成員であれば、事前申し込みを条件に、どなたでも参加することができます。さらに、団体会員には、登録した部門に 3 名を限度として部門委員会委員を派遣する権利があります。部門委員会委員になられた方には、当該部門の学術活動の企画・運営に関わって頂くことになります。

なお部門登録の制限は、A 種（12 部門）、B 種（8 部門）、C 種（5 部門）、D 種（3 部門）ですが、これは、基幹・応用の別に関係なく、総数としての制限です。なお、この制限数に独立部門への登録はカウントしません。

団体会員様用 団体会員用部門登録申請書の記入方法について（記入例）

1 団体名

団体会員として、登録している団体名を記入して下さい。

2 会員番号・会員登録者

送付しております会員登録内容書に記載しております会員番号（9桁）・会員登録者名を記入してください。

3 団体種別

団体会員として、登録している種別にレ点を入れて下さい。

JBNDI

備考欄：（事務局用）

団体会員用部門登録申請書

申請日：令和 年 月 日 ※ 本申請書の記入については、別紙の記入方法（記入例）を参照して下さい。

1 国 体 名

2 会 員 番 号

3 会 員 登 録 者 名

4 団 体 種 別

※ □に☑して下さい。

最大部門登録可能数

12 部門	8 部門	5 部門	3 部門
-------	------	------	------

5 部門登録 ※ □に☑して下さい。

合計部門登録数（ ）部門

独立部門登録（有・無）

基幹部門

□ 放射線部門(RT) □ 超音波部門(UT) □ 磁粉・浸透・目視部門(MT/PT/VT)

□ 電磁気部門(ET/MFLT) □ 漏れ試験部門(LT) □ 応力・ひずみ測定部門(SSM)

□ AE・音響部門(AET) □ 赤外線部門(IRT)

応用部門

□ 素材プロセス部門(MMP) □ プラント保全部門(PM) □ 建設インフラ部門(SCI) □ 機械システム部門(MS)

独立部門 ※ 任意（部門登録可能数にカウントしない）

□ 情報通信・知能化部門(ICI)

4 部門登録

団体会員は、会員種別により部門登録数（上限）が右記のようになっておりますので、登録を希望する部門にレ点を入れて合計部門登録数にレ点を入れた数を記入してください。※合計部門登録数（右表の最大登録数）には、独立部門はカウントしません。

会員種別と最大登録数

会員種別	部門数
A	12
B	8
C	5
D	3

【記入例】C種会員（最大登録部門数が5部門の場合）

●5部門すべてを登録する場合

4 部門登録 ※ □に☑して下さい。

合計部門登録数（ 5 ）部門

独立部門登録（有・無）

基幹部門

☑ 放射線部門(RT) ☑ 超音波部門(UT) ☑ 磁粉・浸透・目視部門(MT/PT/VT)

☑ 電磁気部門(ET/MFLT) ☑ 漏れ試験部門(LT) □ 応力・ひずみ測定部門(SSM)

□ AE・音響部門(AET) □ 赤外線部門(IRT)

応用部門

□ 素材プロセス部門(MMP) □ プラント保全部門(PM) □ 建設インフラ部門(SCI) □ 機械システム部門(MS)

独立部門 ※ 任意（部門登録可能数にカウントしない）

☑ 情報通信・知能化部門(ICI)

●3部門のみを登録する場合（5部門未満の登録）

4 部門登録 ※ □に☑して下さい。

合計部門登録数（ 3 ）部門

独立部門登録（有・無）

基幹部門

☑ 放射線部門(RT) ☑ 超音波部門(UT) □ 磁粉・浸透・目視部門(MT/PT/VT)

□ 電磁気部門(ET/MFLT) □ 漏れ試験部門(LT) □ 応力・ひずみ測定部門(SSM)

□ AE・音響部門(AET) □ 赤外線部門(IRT)

応用部門

□ 素材プロセス部門(MMP) ☑ プラント保全部門(PM) □ 建設インフラ部門(SCI) □ 機械システム部門(MS)

独立部門 ※ 任意（部門登録可能数にカウントしない）

☑ 情報通信・知能化部門(ICI)

5 部門委員会委員の登録

貴団体が登録された部門（独立部門を含む）で、その部門の規格・運営に積極的に参画していただける方（貴団体に所属していれば正会員・非会員を問わない）がおられましたら、この欄にご記入ください。なお、一団体において個人会員を含めて1部門に3名まで部門委員会委員を登録することが可能です。

同じ方を複数の部門の部門委員会委員として登録することも可能です。その場合、「5」の表の「部門登録委員会（略称）」欄に複数の部門略称を記入していただいても構いません。

貴団体から部門委員会委員を登録されない場合でも、「4」で登録した部門の学術行事には、貴団体に属する方であれば、事前申し込みを条件に自由に参加することが可能です。

【記入例】D種の場合（登録部門：RT・UT・PM／これ加えて独立部門への登録有り無し）

① 登録の3部門すべてに1名ずつの部門委員会委員をご登録の場合（さらにそれらの委員を独立部門にも委員登録する場合）

5 部門委員会委員の登録 ※1部門の登録数は、3名まで				
部門委員会委員登録数（重複を除く）（ 3 ）名				
No.	(フリガナ) 登録者氏名 生年月日	勤務先名・所属名 勤務先所在地	勤務先電話 E-mail	部門 委員会 (略称)
1	佐藤 次郎	(一社)日本非破壊検査協会 亀戸事務所	03-0000-0000	RT
	0000年0月00日	〒136-0071 東京都江東区亀戸 2-25-14	0000@000. co. jp	ICI
2	加藤 一郎	同上	03-0000-0000	UT
	0000年0月00日	同上	0000@000. co. jp	ICI
3	鈴木 三郎	同上	03-0000-0000	PM
	0000年0月00日	同上	0000@000. co. jp	ICI

② 登録の3部門すべてに3名ずつの部門委員会委員をご登録の場合

5 部門委員会委員の登録 ※1部門の登録数は、3名まで				
部門委員会委員登録数（重複を除く）（ 5 ）名				
No.	(フリガナ) 登録者氏名 生年月日	勤務先名・所属名 勤務先所在地	勤務先電話 E-mail	部門 委員会 (略称)
1	佐藤 次郎	(一社)日本非破壊検査協会 亀戸事務所	03-0000-0000	RT
	0000年0月00日	〒136-0071 東京都江東区亀戸 2-25-14	0000@000. co. jp	UT
2	加藤 一郎	同上	03-0000-0000	RT
	0000年0月00日	同上	0000@000. co. jp	PM
3	鈴木 二郎	同上	03-0000-0000	RT
	0000年0月00日	同上	0000@000. co. jp	PM
4	鈴木 三郎	同上	03-0000-0000	UT
	0000年0月00日	同上	0000@000. co. jp	
5	高田 史郎	同上	03-0000-0000	UT
	0000年0月00日	同上	0000@000. co. jp	PM

- ③ 登録の3部門で、1部門に1名、2部門に2名ずつ部門委員会委員をご登録の場合（それらの人物を上限3人まで独立部門にも委員登録する場合）

5 部門委員会委員の登録 ※1部門の登録数は、3名まで				
部門委員会委員登録数（重複を除く）（ 4 ）名				
No.	(フリガナ) 登録者氏名 生年月日	勤務先名・所属名 勤務先所在地	勤務先電話 E-mail	部門 委員会 (略称)
1	佐藤 次郎	(一社)日本非破壊検査協会 亀戸事務所	03-0000-0000	RT
	0000年0月00日	〒136-0071 東京都江東区亀戸 2-25-14	0000@000. co. jp	PM ICI
2	加藤 一郎	同上	03-0000-0000	UT
	0000年0月00日	同上	0000@000. co. jp	
3	鈴木 二郎	同上	03-0000-0000	UT ICI
	0000年0月00日	同上	0000@000. co. jp	
4	鈴木 三郎	同上	03-0000-0000	PM ICI
	0000年0月00日	同上	0000@000. co. jp	

- ④ 登録の3部門で、1部門に1名、2部門に2名ずつ部門委員会委員をご登録の場合（独立部門には、別の人物を委員登録する場合）。

5 部門委員会委員の登録 ※1部門の登録数は、3名まで				
部門委員会委員登録数（重複を除く）（ 6 ）名				
No.	(フリガナ) 登録者氏名 生年月日	勤務先名・所属名 勤務先所在地	勤務先電話 E-mail	部門 委員会 (略称)
1	佐藤 次郎	(一社)日本非破壊検査協会 亀戸事務所	03-0000-0000	RT
	0000年0月00日	〒136-0071 東京都江東区亀戸 2-25-14	0000@000. co. jp	PM
2	加藤 一郎	同上	03-0000-0000	UT
	0000年0月00日	同上	0000@000. co. jp	
3	鈴木 二郎	同上	03-0000-0000	UT
	0000年0月00日	同上	0000@000. co. jp	
4	鈴木 三郎	同上	03-0000-0000	PM
	0000年0月00日	同上	0000@000. co. jp	
5	高田 史郎	同上	03-0000-0000	ICI
6	非破壊 一郎	同上	03-0000-0000	ICI
	0000年0月00日	同上	0000@000. co. jp	

- ⑤ 登録の3部門で、1部門に1名、別の1部門に2名の部門委員会委員をご登録の場合（3部門目の登録なし）

5	部門委員会委員の登録 ※1部門の登録数は、3名まで			
部門委員会委員登録数（重複を除く）（ 3 ）名				
No.	(フリガナ) 登録者氏名 生年月日	勤務先名・所属名 勤務先所在地	勤務先電話 E-mail	部門 委員会 (略称)
1	佐藤 次郎 〇〇〇〇年〇月〇〇日	(一社)日本非破壊検査協会 亀戸事務所 〒136-0071 東京都江東区亀戸 2-25-14	03-〇〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇〇〇@〇〇〇. co. jp	RT
2	加藤 一郎 〇〇〇〇年〇月〇〇日	同上 同上	03-〇〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇〇〇@〇〇〇. co. jp	UT ICI
3	鈴木 三郎 〇〇〇〇年〇月〇〇日	同上 同上	03-〇〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇〇〇@〇〇〇. co. jp	UT

- ⑥ 登録の3部門のうち、2部門に1名ずつの部門委員会委員をご登録の場合（3部門目の登録なし）

5	部門委員会委員の登録 ※1部門の登録数は、3名まで			
部門委員会委員登録数（重複を除く）（ 2 ）名				
No.	(フリガナ) 登録者氏名 生年月日	勤務先名・所属名 勤務先所在地	勤務先電話 E-mail	部門 委員会 (略称)
1	佐藤 次郎 〇〇〇〇年〇月〇〇日	(一社)日本非破壊検査協会 亀戸事務所 〒136-0071 東京都江東区亀戸 2-25-14	03-〇〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇〇〇@〇〇〇. co. jp	RT
2	加藤 一郎 〇〇〇〇年〇月〇〇日	同上 同上	03-〇〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇〇〇@〇〇〇. co. jp	UT ICI
3				

- ⑦ 登録の3部門すべてに部門委員会委員をご登録されない場合

5	部門委員会委員の登録 ※1部門の登録数は、3名まで			
部門委員会委員登録数（重複を除く）（ 0 ）名				
No.	(フリガナ) 登録者氏名 生年月日	勤務先名・所属名 勤務先所在地	勤務先電話 E-mail	部門 委員会 (略称)
1				
2				
3				

【本記入方法をご参照のうえ、団体会員用部門登録申請書にご記入ください。】